

NewSophia

ニューソフィア

福岡学園は「口腔医学」を推進しています。

119号
[VOL.31-③]
July 2023

福岡市立高等学校(4校)と 連携協定を締結

- ◆ 高等学校の生徒を対象にキャンパスツアー・授業参加型プログラムを実施
- ◆ 福岡歯科大学 同窓生ご子息・ご息女対象オープンキャンパスならびにホームカミングデーを開催

50周年記念講堂



いわゆる西洋医学は、専門領域に細分化して高度に発展してきた。一方、東洋医学や看護の基本理念は、人を丸ごとのファジーな総体として把握し、病気だけに焦点を絞ることなく、心身を治癒に導こうとするものである。看護の文化はダイバーシテイを元々包含してきた。

さて、小学生の時、人の性は男女の2つに分かれ、46本の染色体のうち2本の性染色体がXX(女)か、XY(男)かで性が決まると習ったが、近年、社会的に性も多様化している。教育現場でもいろいろな状況に遭遇することが増えてきた。^{*}最近読んだ本の中に、興味深い記事を見つけたので紹介する。マイクロキメリズムという現象で妊娠中に胎盤を介して胎児と母親の間で双方向に細胞の移動が起こり、胎児が男児の場合、母親に男児由来XY細胞(男性型細胞)が、男児には母親由来XX細胞(女性型細胞)が定着しうるということが解ってきた。全ての細胞が、男でXY、女でXX細胞ではなく、脳組織の性も正常人ですらモザイク状であり混在しているということである。さらに、加齢とともに男性では46、XY染色体がY染色体を失い45、X染色体になり、Y染色体を失ってゆくほど死亡率やアルツハイマー発症率が高くなるというエビデンスが得られている。

このような科学的根拠が明らかになってくると人の性においてすら、2つに分けるべきものではなく、人は相対的に女性型細胞が多い人と男性型細胞が多い人の間に連続的スペクトラムとして存在するのである。社会的に唱えられているダイバーシティに科学的根拠が裏打ちされたことで、私の頭の中がスッキリと整理され、ストンと収まった。看護が包含してきた寛容の文化をダイバーシテイの先をゆくものとして、福岡看護大学で推進してゆきたい。

^{*} 深見真紀「ポリモルフィア」7・8・11・2022

目次

Contents

1・2 ◆ 泉湧くところ

《Seasonal News》―季節のニュース―

3・4 ◆ 令和4年度事業報告および決算について

《Featuring News》―注目のニュース―

- 5 ◆ 福岡市立高等学校(4校)と連携協定を締結
高等学校の生徒を対象にキャンパスツアー・
授業参加型プログラムを実施
- 6 ◆ 福岡歯科大学 同窓生ご子息・ご息女対象オープンキャンパス
ならびにホームカミングデーを開催

《Campus News》―学園の話題―

- 7 ◆ 医科歯科総合病院が病院機能評価を受審
◆ 福岡看護大学で第二回芸術祭を開催
- 8 ◆ 福岡歯科大学学生研究支援プログラム
リサーチ・スチューデントが決定
◆ 田口短大学長(常務理事)が内戦状態が続くミャンマーで医療支援
- 9 ◆ 令和5年度第1回福岡看護大学・福岡医療短期大学
高校教員対象合同入試説明会を開催
◆ 福岡歯科大学学年説明会並びに個別面談会 開催案内
- 10 ◆ 福岡市民の健康を歯と口から守る集いに参加
◆ 医科歯科総合病院で災害対応訓練を実施
- 11・12 ◆ 福岡歯科大学・福岡看護大学・福岡医療短期大学
オープンキャンパス開催のお知らせ

《People》―学園の「ひと」―

- 13 ◆ 教員紹介
◆ 福岡歯科大学・福岡医療短期大学 学生後援会会長改選
福岡歯科大学・福岡看護大学 学友会総務委員長決定
◆ 第16回 健康まると福岡学園開催案内

《Events》―学園行事レポート―

- 14 ◆ 福岡歯科大学口腔医療センターのご紹介

《From Alumni》―同窓会だより―

- 15 ◆ 学術報告(酒井 貴芳・25期生)
◆ 同窓生からの手紙(都築 尊・18期生)
- 16 ◆ クリニックからこんにちは!(大川 伊織・23期生)
◆ 卒業生NOW(松尾 勇弥・35期生)

《Affluent Voices》―みんなの声―

- 17 ◆ 看護大学だより
◆ 短大Voices
- 18 ◆ 学生からのメッセージ(河田 卓也・福岡歯科大学 第5学年)
◆ 保護者からのメッセージ(太田 文隆・福岡歯科大学 学生後援会理事・評議員)
◆ コラム
◆ 編集後記

《Information》―お知らせ―

裏表紙 ◆ 入学者選抜日程(福岡歯科大学・福岡看護大学・福岡医療短期大学)

《表紙写真》学園内の風景

令和4年度(第51期)決算

令和4年度(第51期)の資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表および財産目録の概要は次のとおりです。

○資金収支計算書

■資金収支計算書総括表(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで) (単位:千円)

【収入の部】					
科 目	4年度予算 (①)	4年度決算 (②)	予算との差異 (①-②)	3年度決算 (③)	前年度決算との 差異(②-③)
1 学生生徒等納付金収入	3,373,930	3,205,255	168,675	3,273,855	△68,600
2 手数料収入	31,149	26,288	4,861	30,120	△3,832
3 寄付金収入	106,300	96,194	10,106	98,091	△1,897
4 補助金収入	465,400	626,138	△160,738	524,117	102,021
5 寄附金収入	700,000	732,232	△32,232	357,451	374,781
6 付随事業収益事業収入	443,370	417,593	25,777	530,367	△112,774
7 医療収入	2,488,000	2,425,051	62,949	2,425,577	△526
8 受取利息・配当金収入	525,150	534,288	△9,138	556,376	△22,088
9 雑収入	169,010	190,514	△21,504	241,720	△51,206
10 借入金等収入	0	0	0	2,300,000	△2,300,000
11 前受金収入	452,453	460,598	△8,148	455,546	6,052
12 その他収入	2,606,574	2,763,240	△156,666	4,454,016	△1,690,776
13 資金収入調整勘定	△948,450	△978,330	29,880	△1,024,703	46,373
【A】当年度収入合計	(10,412,883)	(10,499,061)	(△86,178)	(14,222,533)	(△3,723,472)
【B】前年度繰越支払資金	1,083,137	1,320,274		1,405,326	
収入の部合計	11,496,020	11,819,335	△323,315	15,627,859	△3,808,524
【支出の部】					
科 目	4年度予算 (①)	4年度決算 (②)	予算との差異 (①-②)	3年度決算 (③)	前年度決算との 差異(②-③)
1 人件費支出	4,550,254	4,308,655	241,599	4,375,793	△67,138
2 教育研究経費支出	2,176,874	2,134,677	42,197	1,956,038	178,639
3 管理経費支出	533,744	540,898	△7,154	425,203	115,695
4 借入金等利息支出	21,899	22,733	△834	18,521	4,212
5 借入金等返済支出	945,020	945,024	△4	715,020	230,004
6 施設関係支出	822,673	841,463	141,210	2,605,774	△1,924,311
7 設備関係支出	232,421	369,911	△137,490	172,691	197,220
8 資産運用支出	1,203,074	1,332,232	△129,158	4,133,700	△2,801,468
9 その他支出	460,317	642,378	△182,061	492,797	149,581
10 [予備費]	(0)				
11 資金支出調整勘定	330,000		300,000		0
【C】当年度支出合計	(10,911,876)	(10,615,497)	(296,379)	(14,307,585)	(△3,692,088)
【D】前年度繰越支払資金	584,144	1,203,838	△619,694	1,320,274	△116,436
支出の部合計	11,496,020	11,819,335	△323,315	15,627,859	△3,808,524

■主な内容は次のとおりです。

【収入の部】	決算額	内 容
1 学生生徒等納付金収入	32億500万円	歯科大学は23億8,200万円、看護大学は6億5,000万円、短期大学は1億7,300万円となり、歯科大学の入学定員未充足による在籍学生数の減により、前年度比6,900万円減の32億500万円となりました。
4 補助金収入	6億2,600万円	経常費補助金3億1,500万円、施設整備費補助金5,100万円、授業料等減免費補助金4,900万円、サステナブル建築物等先導事業補助金1億1,600万円など、前年度比1億200万円増の6億2,600万円となりました。
7 医療収入	24億2,500万円	病院医療収入は21億7,900万円、口腔医療センター医療収入は2億4,600万円となり、前年度比100万円減の24億2,500万円となりました。
【支出の部】	決算額	内 容
6 施設関係支出	6億8,100万円	記念講堂建設工事費4億1,600万円、記念講堂外構等工事費1億8,900万円、水路改修工事費4,300万円など、前年度比19億2,400万円減の6億8,100万円となりました。
7 設備関係支出	3億7,000万円	施設整備費補助事業による歯科大学「マルチメディア対応統合型実技教育装置」整備費1億100万円、記念講堂機器備費7,900万円など、前年度比1億9,700万円増の3億7,000万円となりました。

○財産目録

■財産目録総括表(令和5年3月31日現在)(注記)資産の評価基準は取得価額基準による。

(単位:円)		(単位:円)	
科 目	金 額	科 目	金 額
資産額			
1 基本財産	22,633,580,515	1 固定負債	7,259,787,124
(1) 土地	2,893,495,049	(1) 長期借入金	5,754,912,000
(2) 建物	14,936,031,279	(2) 退職給与引当金	1,504,375,124
(3) 構築物	872,168,143	(3) 長期預り金	500,000
(4) 教育研究用機器備品	1,940,173,547		
(5) 管理用機器備品	98,753,239	2 流動負債	1,858,537,707
(6) 図書	1,649,330,806	(1) 短期借入金	945,024,000
(7) 車両	691,032	(2) 未払金	300,137,726
(8) 電話加入権	1,705,991	(3) 前受金	460,598,000
(9) 敷金・保証金	41,288,900	(4) 預り金	152,777,981
(10) 教育研究用ソフトウェア	174,009,440	負債合計	9,118,324,831
(11) 管理用ソフトウェア	25,933,089	正味財産	57,442,846,480
2 運用財産			
(1) 建物	43,927,590,796		
(2) 現金預金	24,050,014		
(3) 特定資産	1,203,838,151		
(4) 有価証券	41,793,565,500		
(5) 敷金・保証金	265,737,300		
(6) 長期貸付金	16,800,000		
(7) 長期前払金	21,700,000		
(8) 未収入金	5,220,459		
(9) 貯蔵品	515,873,073		
(10) 前払金	19,405,360		
(11) 立替金	59,774,718		
資産合計	66,561,171,311		

○事業活動収支計算書

■事業活動収支計算書総括表(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで) (単位:千円)

科 目		4年度予算 (①)	4年度決算 (②)	予算との差異 (①-②)	3年度決算 (③)	前年度決算との 差異(②-③)
事業活動収入の部	1 学生生徒等納付金	3,373,930	3,205,255	168,675	3,273,855	△68,600
	2 手数料	31,149	26,288	4,861	30,120	△3,832
	3 寄付金	106,300	99,458	6,842	120,946	△21,488
	4 経営費等補助金	465,400	446,044	19,356	466,154	△20,110
	5 付随事業収入	443,370	417,593	25,777	530,367	△112,774
	6 医療収入	2,488,000	2,425,051	62,949	2,425,577	△526
	7 雑収入	169,010	196,430	△27,420	244,055	△47,625
	【A】教育活動収入計	7,077,159	6,816,119	261,040	7,091,074	△274,955
	1 人件費	4,559,380	4,368,170	221,210	4,396,192	△28,022
	2 教育研究経費	3,225,771	3,184,325	40,846	2,945,657	239,668
事業活動支出の部	3 管理経費	602,106	637,735	△35,629	497,287	140,448
	4 借入金不能額等	0	6,911	△6,911	4,334	2,577
	【B】教育活動支出計	8,417,257	8,197,741	219,516	7,843,470	354,277
	【C】教育活動収支差額	△1,340,098	△1,381,622	41,524	△752,396	△629,226
	1 受取利息・配当金	525,150	534,288	△9,138	556,376	△22,088
	2 その他の教育活動外収入	0	0	0	0	0
	【D】教育活動外収入計	525,150	534,288	△9,138	556,376	△22,088
	1 借入金等利息	21,899	22,733	△834	18,521	4,212
	2 その他の教育活動外収入	0	0	0	0	0
	【E】教育活動外支出計	21,899	22,733	△834	18,521	4,212
教育活動外収入の部	F 教育活動外収支差額	503,251	511,555	△8,304	537,855	△26,300
	【G】経常収支差額	△836,847	△870,067	33,220	△214,541	△655,526
	1 資産売却差額	0	0	0	0	0
	2 その他の特別収入	10,000	247,987	△237,987	74,793	173,194
	【H】特別収入計	10,000	247,987	△237,987	74,794	173,191
	1 資産売却差額	0	143,984	△143,984	20,055	123,929
	2 その他の特別支出	0	1	△1	74	73
	【I】特別支出計	0	143,985	△143,985	20,129	123,856
	【J】特別収支差額	10,000	104,002	54,665	49,337	49,337
	特別支出の部	【K】予備費	300,000		300,000	
【L】基本金繰入・前年度収支差額		△1,126,847	△766,065	△360,782	△159,876	△606,189
【M】基本金繰入合計		△1,787,726	△1,794,016	6,290	△990,967	△803,049
【N】当年度収支差額		△2,914,573	△2,560,081	△354,492	△1,150,843	△1,409,238
【O】前年度繰越収支差額		△1,289,836	△952,577	△337,259	197,596	△1,150,173
【P】基本金取崩額		0	263,198	△263,198	670	266,528
【Q】前年度繰越収支差額		△4,204,409	△3,249,460	△954,949	△952,577	△2,296,883
【R】前年度繰越収支差額						
事業活動収入計		7,612,309	7,598,394	13,915	7,722,244	△123,850
事業活動支出計		8,739,156	8,364,459	374,697	7,822,242	482,330

福岡市立高等学校（4校）と連携協定を締結 高等学校の生徒を対象にキャンパスツアー・授業参加型プログラムを実施

福岡歯科大学・福岡看護大学・福岡医療短期大学は、大学教育・高等学校教育の活性化等を目的として、福岡市立高等学校である福岡高等学校・博多工業高等学校・福岡女子高等学校・福岡西陵高等学校の4校と「高大連携に関する協定」を締結しました。この協定は相互の教育に係る交流・連携を通じて、高大連携に係る取り組みの実質化を図ることを目的としています。

6月13日、福岡歯科大学において執り行われた調印式には、福岡高等学校より藤菊英校長、博多工業高等学校より福岡哲朗校長、福岡女子高等学校より大洲隆一郎校長、福岡西陵高等学校より佐伯哲郎校長が出席し、協定書に署名しました。

また、6月20日より本学園3大学のキャンパスツアーと授業参加型プログラムが実施されました。市立高等学校の生徒は、各大学や医科歯科総合病院を見学し、本学園の特色や魅力について説明を受けました。授業参加型プログラムでは演習に参加し、シーツ交換や血糖シミュレーションなどを体験しました。

今後も各高等学校と連携した取り組みが期待されます。



福岡歯科大学 同窓生ご子息・ご息女対象オープンキャンパス ならびにホームカミングデーを開催

6月18日、福岡歯科大学同窓生のご子息・ご息女を対象としたオープンキャンパスを開催しました。県内外の高校生や保護者など約40人が参加し、病院やロボット実習室などの施設見学や、コンピュータを使用した頭蓋骨3Dモデルで顔の骨格を知る模擬実習、大学の概況や令和6年度入学者選抜に係る説明、個別進学相談会が行われました。参加者からは「最新の設備が充実していて、ここで学びたいと思いました」、「病院も見学することができて、将来をイメージすることができました」との声をいただきました。

また、同日に同窓生ならびにそのご家族を対象としたホームカミングデーを開催しました。50周年記念講堂にて開学からの歴史を高橋学長がスライドを用いて振り返り、大学、病院などの施設を見学しました。参加した同窓生からは「自分たちが卒業してからの歴史を感じました」、「新しい施設に驚きながらも、懐かしくもあり、楽しかったです」との声をいただきました。



Campus News
1

医科歯科総合病院が 病院機能評価を受審

医科歯科総合病院では、4月20日、21日に病院機能評価を受審しました。病院機能評価は、組織全体の運営管理および提供される医療について、公益財団法人日本医療機能評価機構が中立的・科学的・専門的な見地から評価を行うものです。

当院では、これまで5年ごとに3度の認定を受けており、今回が4度目の受審となります。

評価調査者（サーベイヤー）からの質問に対し、各専門領域（診療管理、看護管理、事務管理）のチームが回答しました。新病院において初めての受審となった今回、新しい体制での病院機能を再確認することができました。



Campus News
2

福岡看護大学で 第二回芸術祭を開催

4月28日、福岡看護大学で第二回芸術祭が開催されました。この催しは、コロナ禍で様々な行事が見送られる中、限られた中でも大学生活の思い出を作ろうと学生たちが自ら企画運営したもので、昨年に続き第二回の開催となりました。ダンス部によるダンスの披露や、ベッドメイキングの美しさを競う催し、高校生時代の制服を着用したファッションショーやビンゴ大会などステージ発表や展示会で大いに盛り上がりました。



Campus News 3

福岡歯科大学学生研究支援プログラム リサーチ・スチューデントが決定

令和5年度の福岡歯科大学学生研究支援プログラムにおけるリサーチ・スチューデントが決定しました。

この制度は、普段の講義・実習の先にある「研究」に強い関心をもっている学生を支援するもので、リサーチ・スチューデントが行う研究活動には、研究指導を行う分野に対して1件あたり20万円を上限として支援金が交付され、充実した研究活動を行うことができます。

今年度は、6名の学生がリサーチ・スチューデントに採用され、研究課題に主体的に取り組む、物事の本質を見極める能力を磨いていきます。

【研究課題】

第3学年 平山 絢琉

「人工骨補填材の生体機能性に及ぼす組成および構造制御」

第2学年 石川 慎之助

「歯周病の健康格差と環境要因に関する探索的研究」

第4学年 新地 勇大

「歯周病腫瘍細胞の進展機構の解析」

第5学年 生田 宗一郎

「歯周病原細菌の増殖を阻害する因子の探索」

第5学年 井口 晃太郎

「DNA損傷応答を制御するクロマチン動態の研究」

第3学年 得居 果乃

「DNA損傷が引き起こすアポトーシス誘導機構の研究」



Campus News 4

田口短大学長(常務理事)が 内戦状態が続くミャンマーで医療支援

田口 智章短大学長(常務理事)が、特定非営利活動法人ジャパンハートからの要請を受け、猪股 裕紀洋医師(熊本労災病院 院長)らとともに、内戦状態が続くミャンマーで小児外科手術等の医療支援を行いました。

現在、ミャンマーでは内戦の影響で、ほとんどの医療機関が休診となっています。ジャパンハートが支援を行うミャンマー最大都市ヤンゴンの小児専門病院は、この状況下でも診療を続ける数少ない医療機関で、連日多くの人が治療を受けようと病院へ殺到しているのが現状です。

こうした中、医療器具や技術などの不足により、現地スタッフの対応が困難な手術を実施するため、コロナ禍が明けるのを待って小児外科スペシャリストの一人として日本から派遣された田口短大学長は、緊急性が高い乳幼児らの手術を行うこととし、胆道閉鎖症など3〜4時間にも及ぶ手術を2日間で計4件行いました。また、現地の医師や研修医、看護師などのスタッフにも診察や手術に参加してもらうなど人材育成にも努めました。

帰国した田口短大学長は、「今後も可能な限り継続して支援を行っていきたい。また、現地ではDental Nurse、日本でいう歯科衛生士の養成も始まっているので、本学でも国際的に活躍ができる歯科衛生士の育成を目指すとともに、現地での活動に参加し、実情を知ってもらえたら」と話していました。

この活動はNHKや新聞など多くのメディアに取り上げられました。



胆道閉鎖症の手術をする田口学長(右)
(ジャパンハート提供)



CT画像で手術適応を決める田口学長
(ジャパンハート提供)

6月21日、福岡県を中心とした九州各地の高等学校を対象に、福岡看護大学と福岡医療短期大学の合同による高校教員対象合同入試説明会が開催され、今年度は21校の教員の方々に参加いただきました。説明会では、各大学の特徴や入試概要を説明し、学内見学、大学生活や入試についての個別相談、「多くの高校生が歯周病に？高校生歯周病との関係性」というテーマで合同研修を実施しました。

Campus News
5

令和5年度第1回 福岡看護大学・ 福岡医療短期大学 高校教員対象 合同入試説明会を開催

Campus News
6

福岡歯科大学学年説明会並びに個別面談会 開催案内

福岡歯科大学では、在学生の保護者の皆様に教育内容をご理解いただき、保護者の皆様との相互理解を深め、保護者・大学が一体となって今まで以上に学生をサポートする環境を構築することを目的に、学年説明会並びに個別面談会を開催しています。

学年説明会は対面で実施しますが、大学ホームページ上にも学年別の教育活動状況、対策や取り組み内容等の説明資料を掲載しておりますのでご覧ください。

(当日の説明内容は、ホームページに掲載しているものと同一となります。)

開催日 2023年8月6日(日)

※新型コロナウイルス感染拡大状況により開催中止の場合があります。

場所 福岡歯科大学

スケジュール

時 間	内 容	詳 細
10:00～12:00	個別面談会 第1ブロック	助言教員との面談
13:00～13:30	学年別説明会	学年別の教育活動状況、 対策や取り組み内容等についての説明
13:30～15:30	個別面談会 第2ブロック	助言教員との面談
15:30～17:30	個別面談会 第3ブロック	助言教員との面談

お問合せ

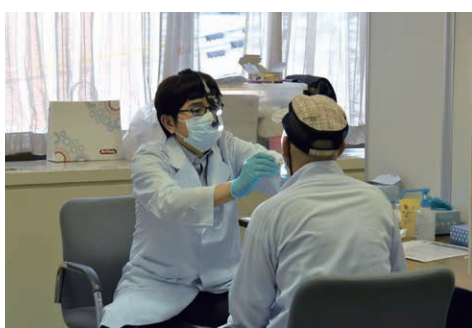
福岡歯科大学 学務課 学生係 TEL:092-801-1884(直通)

Campus News
7

福岡市民の健康を 歯と口から守る集いに参加

6月4日、福岡県歯科医師会館において「第45回福岡市民の健康を歯と口から守る集い」（福岡市歯科医師会主催）が3年ぶりに開催となり、歯を含めたお口と全身の健康についての啓発イベントが実施されました。本学から歯科医師・歯科衛生士が参加し、「歯と口とからだの健康よろず相談」、「口腔外科・口腔がん相談」のコーナーでは参加者のお口に関する悩みに丁寧に対応しました。

また、今年度はソラリアプラザ1階のイベントスペースにも会場が設けられ、口臭予防などお口の健康に関する情報をポスターで紹介しました。



Campus News
8

医科歯科総合病院で 災害対応訓練を実施

6月7日、医科歯科総合病院で新入職員約80名を対象とした災害対応訓練が行われました。職員は、防災についての基礎知識、防火扉・避難経路および消防設備についての説明を聴講し、非常事態における一連の流れを確認しました。また、防火シャッターや避難口の場所を確認し、消火器・屋内消火栓を使用した消火訓練も行われ、参加した職員は災害時の対応について意識を高めました。



福岡歯科大学・福岡看護大学・福岡医療短期大学

入学希望者をはじめ、そのご家族を対象としたオープンキャンパスを開催いたします。
ぜひお気軽にご参加ください。

OPEN CAMPUS

オープンキャンパス開催のお知らせ

福岡看護大学



参加者の声

- ・学校がとてもきれいで学生さんが優しく対応してくれました！
- ・ホームページや資料だけでは分からなかった特色が分かりました。



福岡医療短期大学



参加者の声

- ・歯科衛生士体験がとても楽しかったです！
- ・学生さんに受験や学校について、たくさん教えてもらいました。



福岡歯科大学



参加者の声

- ・歯科医師体験がとても楽しかったです！
- ・設備など全て魅力的に感じ、入学したいと思いました。



各ホームページからお申込みください。

開催校	実施日
福岡歯科大学	7月29日(土)・10月14日(土)
福岡看護大学	7月30日(日)・8月5日(土)・8月19日(土)
福岡医療短期大学	7月29日(土)・8月18日(金)・9月16日(土)・10月14日(土)・11月3日(金・祝)・12月16日(土)・2024年1月27日(土)・2024年3月22日(金)

福岡歯科大学	https://www.fdcnet.ac.jp/col/examinee/oc	
福岡看護大学	https://www.fdcnet.ac.jp/ncol/admission/open	
福岡医療短期大学	https://www.fdcnet.ac.jp/jcol/exam-pg/exam-opc	



教員紹介

《福岡歯科大学》

就任



●障害者歯科学分野 講師 天野 郁子
 (略歴) 福岡歯科大学歯学部卒業。同大学大学院歯学研究科修了。同大学成長発達歯学講座障害者歯科学分野助教、大分県歯科医師会立大分県口腔保健センター勤務、福岡歯科大学医科歯科総合病院医員を経て、2023年6月1日、福岡歯科大学成長発達歯学講座障害者歯科学分野講師に就任。博士(歯学)。

(抱負) 障害のある方が必要な歯科医療を受けられる共生社会の実現に向けて、診療、教育、研究に尽力し、地域医療に貢献していきたいと思っています。

《福岡看護大学》

昇任



●精神看護学分野 講師 原 やよい
 (略歴) 藤田医科大学看護専門学校卒業。久留米大学文学部人間科学科卒業。福岡大学大学院医学研究科(看護学専攻修士課程)修了。福岡女子大学大学院人間環境科学研究科人間環境科学専攻博士後期課程修了。藤田医科大学看護師、福岡看護大学精神看護学分野助教等を経て、2023年5月1日、同大学同分野講師に昇任。博士(人間環境科学)。

(抱負) 精神科では入院医療中心から地域生活へと移行しています。障害の有無にかかわらず誰もがその人らしく生活できる社会の実現に向けて、その担い手となる看護師の育成に貢献したいと考えております。また、病室環境の色彩に関する研究を行っており、この研究を通して、患者様にとって快適な病室環境の提供に貢献したい所存です。

福岡歯科大学・福岡医療短期大学 学生後援会会長改選

福岡歯科大学・福岡看護大学 学友会総務委員長決定

○福岡歯科大学学生後援会会長



2月28日に開催された福岡歯科大学学生後援会理事会・評議員会合同会議において、同会長の改選が行われ、第28代会長として古田 洋介氏が選任されました。

○福岡医療短期大学学生後援会会長



5月18日に開催された福岡医療短期大学学生後援会理事会において、昨年引き続き、神田 恭宏氏が再任されました。

○福岡歯科大学・福岡看護大学 学友会総務委員長



任期満了に伴う福岡歯科大学学友会総務委員長の改選が行われ、第5学年舟越 翔さんが4月1日付で令和5年度総務委員長に就任しました。
 また、令和5年度福岡看護大学学友会総務委員長に第2学年宮久 敬司さんが4月1日付で就任しました。



第16回健康まるごと福岡学園開催案内

日程 10月14日(土)・15日(日)

場所

福岡歯科大学 福岡看護大学 50周年記念講堂
 福岡歯科大学医科歯科総合病院ほか

福岡学園では、医療・保健・福祉分野における総合的な取り組みを軸に、より広い分野での地域貢献を果たすため、学園祭「健康まるごと福岡学園」を開催します。イベントステージ、模擬店、体験コーナーなど多数の企画をご用意して皆様のご来場をお待ちしております。

また、10月14日(土)には福岡歯科大学と福岡医療短期大学のオープンキャンパスが同時開催されますので奮ってご参加ください。

イベント

- 田の歯科祭 ●歯科無料相談
- 医科ミニ講座 ●からだの科学展
- 三大学合同シンポジウム ●看護大企画
- 短大企画 ●介護施設見学・介護無料相談



お問合せ先

学校法人福岡学園 企画課
 〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1 TEL:092-801-0420

充実した日々、いろいろ。学園の様々な出来事をピックアップしてご紹介！

EVENTS RECORD

【イベントレコード】

2023年6月

- 18日  同窓生ご子息・ご息女対象
オープンキャンパス
-  ホームカミングデー

2023年7月

- 8日  7月期オープンキャンパス

EVENTS CALENDAR

【イベントカレンダー（今後の予定）】

2023年7月

- 27日 学園記念日
開学記念式典
-  福岡歯科大学 第6学年激励会
- 29日  オープンキャンパス
-  7月期オープンキャンパス
- 30日  オープンキャンパス

2023年8月

- 6日  学年説明会並びに個別面談会
- 5・19日  オープンキャンパス
- 18日  オープンキャンパス

2023年9月

- 16日  オープンキャンパス

2023年10月

- 12日 献体者慰霊祭・実験動物慰霊祭
- 14日  オープンキャンパス
-  オープンキャンパス
- 14・15日 健康まるごと福岡学園

 福岡歯科大学  福岡看護大学  福岡医療短期大学



人を対象とする研究の倫理および
研究の実施に関する講習会



病院に設置された5人形



ガーデン研修会



福岡医療短期大学裏のあじさい

福岡歯科大学口腔医療センターのご紹介

福岡歯科大学口腔医療センターは、博多駅前再開発事業によるビル取壊し決定により、令和5年4月から本学医科歯科総合病院内に移転しました。本学の診療科と協力し地域医療に貢献する事を目標としています。どうぞよろしくお願いいたします。

センター長 泉 利雄



診療内容

口腔外科、口腔インプラント、歯周病、審美的歯冠修復、欠損部補綴、歯内治療、ホワイトニング、睡眠時無呼吸症候群に対するマウスピース作製等





佐賀県同窓会活動報告

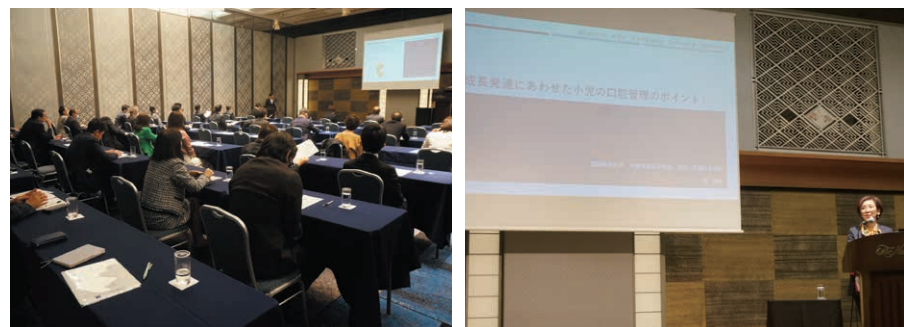
酒井 貴芳 (25期生)

令和5年4月1日(土)ホテルニューオータニ佐賀において4年ぶりに福岡歯科大学佐賀県同窓会総会および学術講演会が開催され、多くの先生方にご参加いただきました。

総会では小柳会長よりご挨拶があり、福岡歯科大学より診断全身管理学講座画像診断学分野 香川 豊宏教授から大学の近況報告を伺いました。

引き続き行われた学術講演会では、福岡歯科大学成長発達歯科学講座成育小児歯科学分野教授 岡崎先生より「成長発達に合わせた小児の口腔管理のポイント」という演題で、ご講演いただきました。講演のなかでは、8020を達成するためには、歯の健全な歯周組織の維持のみならず、正常咬合の重要性についてお話しいただきました。口腔機能発達不全による歯列不正の影響についてもご説明いただき、口腔機能発達不全症のチェックリストについて動画や音声を変え、具体的にご教授いただき非常に興味深く拝聴しました。

講演終了後、懇親会が開催され、来賓として本部より吉永会長、江藤専務にもご出席いただきました。会場では4年ぶりに開催されたこともあり、久しぶりに顔を合わせる先生方も多く、至る所で談笑が聞こえ大変和やかな会になりました。今回の会の開催に関してご尽力いただいた先生方へご参加いただいた先生方に御礼申し上げます。新型コロナウイルス感染症も5類に移行し、福岡歯科大学ならびに同窓会の今後さらなる発展を切に願っております。



同窓生からの手紙

50周年記念事業

都築 尊 (18期生)

学内同窓会会長の都築でございます。本学同窓会は、九州を中心に各支部がありますが、大学在籍者で構成される学内同窓会という支部があるのもアピールさせていただきたいと思っています。

学内同窓会はこれまでに、入学式や卒業式、歯科医師臨床研修修了式などのイベントのたびに同窓会紹介をしてまいりました。例年、入学式と卒業式では同窓会会長をお呼びして祝辞を頂戴し、同窓会入会案内をしてまいりました。また、歯科医師臨床研修修了式においても同窓会の結束を強めるべく、同窓会アピールをしてまいりましたが、近年コロナ禍で人が集まるイベントが中止される中、同窓会アピールもままならず、学生や卒業生の間で同窓会の影が薄くなっているのを肌で感じてまいりました。しかし、昨年12月11日に行われた福岡歯科大学学術大会・学術大会では、シンポジウム1で「大学と同窓生をつなぐ学位・認定医・専門医の取得について」が開催され、多くの同窓生の先生方にご参加いただきました。さらに本年4月7日、初めて50周年記念講堂において入学式が執り行われ、大きなスクリーンにスライドを映して同窓会の活動を示すことができました。

徐々に対面でのイベントが再開される中で、この波に乗って同窓会もさらに結束を強めていきたいと考えております。今後ともどうぞ学内同窓会を宜しくお願い申し上げます。



経験は買ってもいい

大川 伊織 (23期生)

2001年に卒業し歯科医師人生も早や22年が経ちました。

卒後臨床研修制度にて熊本市の熊本市市民病院と伊東歯科医院で1年間研修しました。熊本市市民病院では歯科外来診療を行いながら、毎週各1回ずつ救急外来や形成外科の手術アシスタントとして学ばせてもらいました。しかし、一番自分の糧になっているのは、毎日診療の合間に歯科衛生士等と手分けして、口腔衛生状態の悪い病棟患者に口腔ケアを実施したこと。その頃は口腔ケアの黎明期で、当時の私は「これって何の意味が...?」と思いつつ、日々口腔ケアを行っていたものです。

研修終了後、しばらくして実家の歯科診療所に戻り、そこから20年間父のもと、副院長として現在も日々の診療にあたっています。当時の経験は、当院での歯科訪問診療や有病者の診療に大変役立っています。

これからは地域包括ケアシステムや2040年問題という歯科界の大きな転換期。まさに「経験は買ってもいい」ですね。



卒業生 NOW

ニューヨーク大学CGF臨床研究コースに参加して

松尾 勇弥 (35期生)

2021-2022年福岡歯科大学同窓会&ニューヨーク大学(NYU)主催PRF/CGF臨床研究プログラム&NYUシンポジウムコースに参加させていただきました。

新型コロナウイルス感染症蔓延による緊急事態宣言等もあり、開催当初はZoomでの研究成果の報告会を余儀なくされ、プログラム日程が大幅にずれ込み、今回ニューヨーク大学(NYU)での修了式、証書授与が無事2023年5月に開催されることになりました。

このプログラムの研究は、多血小板フィブリン(PRF)または濃縮成長因子(CGF)の抜歯窩への適応によるソケットプリザベーションの臨床研究プログラムでした。日々の臨床の中で、研究に参加させていただくことは大変貴重な経験でした。なかなかプロトコルに合致する症例が少なく苦渋し、研究の難しさを痛感しましたが、Dr. Jason Kimのもとで研究を行うことができた大変充実しておりました。

また、臨床研究以外でDr. Stephen WALLACEをはじめ世界的に有名な講師陣による貴重な講演が行われ、上顎洞挙上術(サイナスリフト)をはじめ、審美領域のインプラント処置、抜歯直後のソケットプリザベーション、インプラント困難症例の対応、スマイルデザイン等、多岐にわたる専門性の高い先生方の講演を拝聴することで、一般歯科医の私は新たな視点を獲得することができました。

この研修は、私にとって非常に貴重な経験でした。このプログラムで学んだ知識や技術を生かし、今後、歯科医療の役に立てるように取り組んでいきたいと思っています。

最後になりますが、研究および研修全てにおいて支援していただきました城戸寛史教授、また私が参加するにあたって全面的に協力してくれた自院スタッフ、このプログラムに関わりサポートしてくださいました全ての皆様に心より感謝申し上げます。



看護大学
だより

#25

新しい学び・人・キャンパス
福岡看護大学の魅力を
ご紹介します!

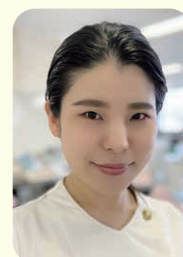
第3学年 梶谷 美鈴

ダンス部は先輩方が立ち上げ、活動し、学園祭で優勝したこともある部活です。2019年から今年の4月までは新型コロナウイルス感染症の影響もあり活動できませんでした。今年新型コロナウイルス感染症も落ち着いてきたため、今年ダンス部が復活しました。

復活後の初期メンバーとして3年生1人、2年生5人が集まり、4月の芸術祭に出場することが決定しました。芸術祭まで期間が短く、全体で6回しか練習できませんでしたが、それぞれが自主練習を重ねました。その結果、本番の芸術祭では良い作品を披露することができ、多くの皆さんに楽しんでいただきました。

ダンスは、音楽に合わせて表現する喜び、運動の楽しさ、多くの人の前で発表する経験などたくさんさんの魅力があります。ダンスを通じて得た成功体験と失敗体験の中で、頼れる自分になるために必要な「自信」、物怖じしない心に必要な「勇気」、そして常に挑戦し続け、容易に諦めない「強い意志」などを育てていきたいと思っています。また、より多くの方を笑顔で幸せにできるような活動ができればと思います。

今後は部員も増えるため、部員間の絆を深め、より良い活動ができるようにしていきたいです。また、練習回数を増やし、色んなジャンルのダンスに挑戦していきたいと思っています。これから私達ダンス部は頑張っていきますので、一緒に踊りたい方はぜひ入部してください。また応援の方もどうかよろしくお願いいたします。

短大
VOICES
#25夢を叶える場所
「福岡医療短期大学」
多くの出会い・絆を育てている
短大の情報をお届け!福岡医療短期大学
助教
川尻 望

寄り添うところをもつ学生を教育したい

母校である福岡医療短期大学にて歯科衛生士教育に従事して6年目を迎えました。まだまだ教育者としては経験も浅く、手探りで試行錯誤を重ねながらではありますが、充実した日々を送っています。

学生指導をする上で私自身が大切にしていることは、教育とは厳しさと同時に、優しさや思いやりを育む機会を与えることであると考えています。「教員」と「学生」と聞くと、「与えるもの」と「受けるもの」と思いがちですが、まずはひとりの人間同士として、信頼関係を構築していく必要があります。そして身近な存在である教員こそが、歯科衛生士を志す学生のモデルケースに成り得ると考えています。

歯科衛生士は患者さんが抱えた問題に対して、寄り添い、解決へと導くといった他者の人生をも左右することができる職業です。寄り添うところをもつ学生を養成するためにも、私自身が学生へと歩み寄り、社会に求められる歯科衛生士を輩出できるよう尽力してまいります。



学生からのメッセージ

先生方の指導について いけば必ず

福岡歯科大学 第5学年

河田 卓也

私は歯科技工士として市内の歯科医院等で働いていましたが、歯科医師の姉の勧めで自分も歯科医師になろうと決心し、3年前の4月に本学に編入させていただきました。



「全科目 80点以上、総合試験 75%以上」。編入して初めてのオリエンテーションで掲げられた目標です。以前通っていた大学でいわゆる落ちこぼれ学生だった私にとってこの目標は、少々厳しすぎるのではと思う目標に感じました。実際、編入してすぐに受けた試験では75%には遠く及ばない惨憺たる結果で、進級さえままならないのではと思うほどでした。

そのような不安な気持ちでいる時に、退職された岡部先生(前細胞生理学分野教授)が、「勉強中に分からない事があればそこに付箋を貼ってとりあえず先に進んで、後で調べたり質問するなどして二つずつ分からない所を潰していけばいい」という勉強法を教えてくださいました。この勉強法のおかげで、初めはわからない事だらけだった基礎科目が少しずつ分かるようになり、学ぶ事の楽しさを感じるようになりました。

昨年度末にはCBT試験がありました。簡単な試験ではありませんでしたが、これまでの講義や実習で学んだ事を思い出すことで乗り切ることができました。

今年度は登院実習と国家試験合格のための勉強に励んでいます。登院実習では、実際に臨床の現場を見ることで、昨年まで学んだ知識の確認だけでなく、日々新しい発見と学びをさせていただいています。

CBT試験でもそうでしたが、先生方の指導についていけば必ず国家試験も合格できると信じて、今後も楽しく学園生活を送りたいです。

保護者からのメッセージ

「勇往邁進」目標に向かって 頑張るのみ！

福岡歯科大学 学生後援会理事・評議員

太田 文隆

学生の皆さんにおかれましては、少しずつ日常を取り戻しつつ健やかに日々をお過ごしのことと推察いたします。約3年間のコロナ禍が、皆さんの貴重な6年間のキャンパスライフに良くも悪くも様々な影響をもたらしてきましたが、ようやく平穏な日常が訪れそうです。今後は今まで制限されていたオールデンタル等のイベントも従来通り行われていくと思います。私は部活動等の本来、学生生活の基盤の一部となる活動も学業とは表裏一体でとても大事なことであり、動も止まりません。今後、学業のみならず部活動もぜひ積極的に頑張ってください。とはいえ、何よりも皆さんの最大の目標は国家試験の合格です。継続は力なり！自分を信じて国家試験合格に向けて日々の努力を怠らず、まずは各学年で与えられた課題をしっかりとクリアしていきましょう。約3年間のコロナ禍が学生生活6年間のどの時期に当てはまったかにより各個人の思いも様々だと思いますが、それぞれの目標に向かって邁進し、学生生活の残された時間を悔いのないよう有意義に過ごしてください。応援しています。



New Sophia
コラム

マツヨイグサ

叙情的な女性の絵画で知られる竹久夢二の作詞した歌に「宵待草」というものがある。「待てど暮らせど来ぬ人を 宵待草のやるせなさ」と始まる歌で、夢二が南房総の小さな島で経験した、実ることのなかった儚い恋がこの詩の着想だと言われている。実際には「宵待草」の名を持つ植物はなく、夏の日に夢二の目に映ったのはマツヨイグサ *Oenothera stricta* である可能性が高い。

マツヨイグサはアカバナ科の一年草で、観賞用として南米から移植されたものから広がったとされている。日の入る頃に直径5cmほどの黄色く艶やかな花をひろげ、夜の間は咲き続けるものの、翌朝には赤黒く変色して萎むことから、儚い一夜の恋を象徴するかのよう感じられたのだろう。夢二自身も正式な和名のこととは知っていたようで、楽譜の初期の版では「待宵草」、後の版では「宵待草」となっている。語感の美しさにこだわって、あえて修正したとする説が有力。私も宵待草に一票。(内藤徹)



編集後記

青空と白い入道雲のコントラストが美しい季節がやってきました。学園の各大学ではオープンキャンパスが開催され、多くの皆様にご参加いただいています。次月以降も開催されますので、学園の話にある日程をご覧いただき、ご参加いただければ幸いです。他にも種々の話題を掲載しておりますので、ゆっくりとお楽しみください。

入学者選抜日程

福岡歯科大学

区分	総合型選抜 1期 ※専願	学校推薦型 選抜 ※専願	総合型選抜 2期 那覇試験場設置	一般選抜A日程 東京・大阪試験場設置	大学入学共通テスト 利用選抜1期 東京・大阪試験場設置	一般選抜B日程	大学入学共通テスト 利用選抜2期	総合型選抜 3期	大学入学共通テスト 利用選抜3期
募集人員	約5名	約10名	約5名	約40名	約5名	約20名	約5名	約3名	約3名
出願受付 期間	11.1(水)～11.22(水)		R6.1.4(木)～ 1.17(水)	R6.1.4(木)～ 1.31(水)		R6.2.5(月)～ 2.28(水)		R6.3.4(月)～ 3.18(月)	
試験日	11.25(土)		R6.1.21(日)	R6.2.3(土)		R6.3.2(土)		R6.3.20(水・祝)	
合格発表日	11.29(水)	12.1(金)	R6.1.23(火)	R6.2.6(火)		R6.3.5(火)		R6.3.21(木)	
問合せ先	〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1 福岡歯科大学学務課入試係 TEL.092-801-1885(直通) FAX.092-801-0427 ●ホームページURL https://www.fdcnet.ac.jp/col/ ●E-mail nyushi@fdcnet.ac.jp								

福岡看護大学

区分	学校推薦型選抜 (指定校推薦・ 公募推薦)	社会人選抜	一般選抜前期日程	大学入学 共通テスト 利用選抜Ⅰ期	一般選抜後期日程	大学入学 共通テスト 利用選抜Ⅱ期
募集人員	約45名	若干名	約45名	約5名	約5名	若干名
出願受付 期間	11.1(水)～11.8(水)		R6.1.4(木)～1.29(月)		R6.2.8(木)～2.22(木)	
試験日	11.11(土)		R6.2.7(水)	大学独自の試験は課さない	R6.3.4(月)	大学独自の試験は課さない
合格発表日	12.1(金)		R6.2.19(月)		R6.3.11(月)	
問合せ先	〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1 福岡看護大学事務課 TEL.092-801-0486(直通) FAX.092-801-0412 ●ホームページURL https://www.fdcnet.ac.jp/ncol/ ●E-mail knyushi@fdcnet.ac.jp					

福岡医療短期大学

区分	総合型選抜・社会人総合型選抜試験日程							
	I期	II期	III期	IV期	V期	VI期	VII期	VIII期
募集人員	I～VIII期 約37名(社会人 各期若干名)							
出願受付 期間	9.1(金)～ 9.7(木)	9.11(月)～ 9.21(木)	9.25(月)～ 10.5(木)	10.6(金)～ 10.26(木)	11.27(月)～ 12.7(木)	12.18(月)～ R6.1.11(木)	R6.2.1(木)～ 2.14(水)	R6.2.19(月)～ 3.13(水)
試験日	9.9(土)	9.23(土・祝)	10.7(土)	10.28(土)	12.9(土)	R6.1.13(土)	R6.2.16(金)	R6.3.15(金)
合格発表日	11.1(水)			11.2(木)	12.14(木)	R6.1.18(木)	R6.2.22(木)	R6.3.21(木)

区分	学校推薦型選抜			一般選抜	
	指定校推薦	公募推薦	離島推薦	A日程	B日程
募集人員	25名	3名	2名	10名	3名
出願受付 期間	11.1(水)～11.9(木)			R6.1.9(火)～ 1.30(火)	R6.2.19(月)～ 3.13(水)
試験日	11.11(土)			R6.2.1(木)	R6.3.15(金)
合格発表日	12.1(金)			R6.2.8(木)	R6.3.21(木)
問合せ先	〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1 福岡医療短期大学入試係 TEL.092-801-0439(直通) FAX.092-801-4473 ●ホームページURL https://www.fdcnet.ac.jp/jcol/ ●E-mail gakumuj@fdcnet.ac.jp				

【注】総合型選抜・社会人総合型選抜については、希望により上記以外の日程で実施することがあります。詳細は入試係までお問合せください。